

請願第4号

市内巡回バスの早期実現を求める請願

紹介議員
丹野直次

市内巡回バスの早期実現を求める請願

請願趣旨

市内の高齢者は14276人（高齢化率26.55%）となり、高齢者・障がい者のみなさんが、いつまでもお元気で住みつづけられるために、そして広く市民が気軽に外出し、買い物・鉄道駅・公共施設などを利用できるようにするため、公共交通の確保は向日市にとって、益々大切な課題となっています。

それは、この4月の市長選挙で多くの市民のみなさんの『巡回バスを走らせてほしい』という声となり、安田守市長もはっきりと「コミバスの導入」を選挙の公約に掲げられたところでした。

向日市議会では過去2回、巡回バスに関する請願が可決されています。そして、向日市地域公共交通検討委員会が2011年10月に行った市民アンケートでも、「将来的に利用したい」という回答を含めると、79.4%の市民が【新たな公共交通を利用したい】と答えています。

いま全国では、長岡京市ハッピーバスをはじめ1065自治体（2011年）でコミュニティバスが走っていて、5年間で30%も増えています。いまお元気な高齢者でも加齢による運転技能の衰えから、運転免許証の返納が増え、巡回バスの役割もさらに大きくなっています。そこで、次の事項について請願します。

請願項目

- 1、2016年度に巡回バス（コミバス導入）の予算を付けていただくこと。

以上

平成27年5月25日

向日市議会議長

辻山 久和 様